



ROTARY INTERNATIONAL

1996年 3 月 20日

No. 10

Governor's Monthly Letter



クラブ会長・幹事殿控

『雑誌 月 間』— 4 月



1995~'96年度 R.I. 第2760地区 東尾張分区分 インターシティミーティング開催

I.M. 各分区で素晴らしい成果

4月－雑誌月間…情報化時代を迎えて

国際ロータリー第2760地区
ガバナー 石川 和昌

一雨毎に春が身近になり、日を追って桜前線が北上してきます。2月から始まったインターシティミーティングはそれぞれの分区代理の熱心なご指導のもとに色々と趣向を凝らして開催されました。それは新入会員の研修の場となり、またクラブの事例発表の場とし、ロータリーの原点を学びながら友情と親睦の広がりの中で実施されました。

特に女性会員、新入会員の発言内容や新しいクラブの奉仕活動は旧い会員やクラブにとって傾聴に値するものがありました。ご指導頂きました分区代理各位並びに周到な準備と細やかな心配りで会議を成功に導いて頂きましたホストクラブの皆さんに心からお礼申し上げます。

一方、青少年指導者研修の為の「ライラ」は名古屋大須ロータリークラブのホストで2日間に亘って繰り広げられ意義深く実りある成果を得ることが出来ました。有難うございました。

さて、4月は雑誌月間です。ご承知のように「ロータリーの友」はガバナーの機関誌であり国際ロータリーから公認地域雑誌としての地位を与えられております。ロータリアンは総て公認雑誌の購読を義務づけられていますので我々に「友」があるのは貴重なロータリー情報を自国語で読める訳で、大いにご利用下さい。そして是非この中からロータリーに就いての知識を吸収して下さい。

一般にロータリー情報源は4つあると言われてます。1つは手続要覧（2月にブルーの表

紙の新版が発行されました。）であり、2つ目はロータリアン必携（これも昨年改訂されました。）です。これらはロータリーの何たるかを教えてくれます。更に3つ目は昨年からR.I.が発行しました新聞「ロータリーワールド」と4つ目がわれらの「友」であります。後者2つは活きた知識を刻々と与えてくれます。

然し時代が変わると同時にロータリーも変わってきます。ニューメディア時代とともにインターネット上に1月1日よりR.I.のホームページが開設されました。

是非、<http://www.rotary.org>にアクセスして内容を覗いて見て下さい。この中のニュースバスケットは毎週水曜日毎に書き換えられています。

「友」は色々な議論の中で変遷を重ね、育てられ現在の姿となって来ました。然し、将来4月の雑誌月間も情報月間と名を変えるかもしれない程時代は変化し続けています。

知識は人から与えられるものでなく自ら学びとるものです。日々新たなロータリーの知識をあらゆる機会を通じロータリアンに与えられた特権として享受していこうではありませんか。

我々年度も後3ヶ月少々となりました。松本ガバナーノミニもアナハイムでの国際協議会の研修からお元気で帰国されました。いよいよ次年度に向けて会長エレクト研修セミナーを皮切りに始動体制に入られました。ご成功をお祈り申し上げます。

カルガリーで共に勝利を祝おう …ブラウンR.I.会長から檄…

ブラウンR.I.会長がカルガリーへの挑戦として最重要課題に挙げられた会員増強は地区内クラブ、会員のご協力のお陰で2月23日現在、213名の純増、年度内2新クラブ誕生といった素晴らしい結果となっています。厚く感謝申

し上げると共に残された3ヶ月間、一層のご尽力をお願い申し上げます。

ここにブラウン会長とジアイ会長エレクトからガバナー宛寄せられた手紙を紹介させていただきます。

ROTARY INTERNATIONAL



One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA

Herbert G. Brown
President, 1995-96

1996年2月5日

国際ロータリー第2760地区
地区ガバナー 石川和昌様

拝啓

御存知の通り、カルガリーへの挑戦の締切日は1996年3月31日です。私達は、締切日までに貴地区が設定された目標に達成し、それを上回ることができるように、できる限りの努力をして頂くようお願い致します。これは難しいことはありません。これからの2ヶ月の間、貴地区のロータリアンのひとりひとりが資格有る候補者にロータリーに入会するように勧誘することを、あなたが、個人的に、徹底させるなら、ロータリーは、史上最大の成長を達成できるのです。

皆さんの前任者のうちのある方々が「ポリオ・プラス」ガバナーとして知られているように、あなたは、「会員増強」ガバナーとして知られることになるでしょう。ロータリーの会員数の深刻な減少の傾向を逆転させている今年度、あなたは、歴史を築いているのです。このロータリー年度の残りの期間において、これよりも優先度の高いものはありません。パスト・ガバナー達は、よく、「ロータリーは、なぜ、私に何か仕事を与えてくれないのだろう」と聞くことがあります。ロータリーは、彼らに、やることを与えたのです。ロータリーが彼らを地区ガバナーに任命した時、ロータリーの最大の仕事を与えたのです。偉大な指導者と偉大な地区ガバナー達の遺産を受け継いで、貴地区の会員増加の目標に到達し、それを上回るまで努力して下さることを、私達は、皆さんに、お願いしたいと思います。皆さんの会長と会長エレクトとして、私達は、貴地区の目標達成への献身とその成功、そして、皆さんのロータリーへの献身に、大きな関心を持っています。

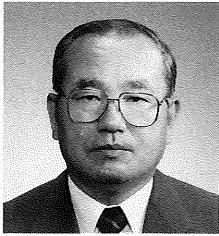
皆さんの指導力に感謝します。私達はその真価に深く感謝いたしています。カルガリーで、あなたと共に、この勝利を祝う日を楽しみにしております。

敬具

ハーバート・G・ブラウン
国際ロータリー会長

ルイス・ビセンテ・ジアイ
会長エレクト

「雑誌月間」について



地区ロータリーの友委員会

委員長 福井 恒雄

ロータリアンには三つの義務があります。

一つは会費を納める義務であります。

一つは例会に出席する義務であります。

いま一つはロータリーの機関誌、即ち「ロータリーの友」を購読する義務であります。

ロータリアン誌の購読はR.I. 細則第17条標準ロータリークラブ定款第12条、第1節によって、会員全てが、機関雑誌（ザ・ロータリアン誌）を、米国、カナダ以外の会員はR.I. 理事会が承認した機関誌を購読しなければ成りません。日本の場合は昭和55年7月より「ロータリーの友」がR.I. の理事会で公式地域雑誌として認定されております。この機関誌の購読を推進めるために、各クラブに雑誌委員会を設置する事が義務づけられておる訳であります。

雑誌委員長の職務については、推奨クラブ細則第8条(e)にあることはご存じのことと思います。具体的に例示しますと、

①ロータリーの友に対する関心を喚起する。

②4月のロータリー雑誌月間を主催する。

これはR.I. の制定している月間行事で4月の例会日の一日だけは「ロータリーの友」の必読をすすめる卓話の時間を取ることが義務づけられております。

ロータリーの地域雑誌は、あらゆる面で、ロータリーの綱領を推進するために存在するものであることと定められております。更にその記事の内容については、次の条件が課せられております。

①一地区もしくは一カ国以上の範囲にわたって発行されている事。

②全地区ガバナーによって指名された委員会の直接の監督のもとにある事。

③雑誌の編集内容は、国際ロータリーの基本方針に沿ったものであり、編集記事の最低50%はロータリーの事、もしくはロータリーに関する記事を掲載する事。

④R.I. 関係の記事、あるいは、R.I. 会長の要請する記事を掲載する事。

⑤年間最低四回刊行されるものである事。

⑥ロータリーの品位と性格にふさわしい体裁のものである事。

⑦R.I. に財政的負担をかけることなく運営できるものである事。

⑧その他、R.I. 事務総長と協議の上、「掲載必須」と指定した資料を必ず掲載する事となっています。

以上の制約の中で「ロータリーの友」は編集を行っていますので、非常に固苦しい文面が多くなってきます、その中で、いかに会員に読んで貰える雑誌にするかで、ロータリーの友の委員会では非常に苦慮しております。

各クラブの雑誌委員長さんには、こうした制約のもとに出来上がった「ロータリーの友」を会員の皆さんに読んでいただくために、毎月の例会時に「ロータリーの友」の紹介をお願いしている訳であります。

「ロータリーの友」を読む事により、ロータリーの活動を理解し、より良いロータリアンになっていただく為であります。

各クラブの雑誌委員長の皆さんにおかれましては、色々苦心されている事と思いますが、是非皆さんのアイデアで「ロータリーの友」を会員の皆様が熟読するようご指導戴ければ幸いです。

ポリオプラス根絶活動募金

*** ご協力のお願い ***

前略 日頃はロータリー活動に対し、深いご理解とご支援を賜り、心から御礼申しあげます。さて、過日の財団セミナーに於きましてご依頼申しあげました、ポリオ根絶活動の支援募金につきまして下記の通り実施したくご協力の程よろしくお願い申しあげます。

草 々

記

①期 間：3月21日(水)～5月20日(月)
(2ヵ月間)

②募金方法：例会場受付に募金箱を設置する又、各テーブルに募金箱を廻す等、方法につきましては各クラブにおまかせしたいと存じます。毎例会毎に繰り返し会員の意識を高めて下さい。

※募金は強制ではなく個人の善意で行って頂くようご留意下さい。

③募金金額：原則として紙幣でなく、小銭でお願いして下さい。

④募金箱型式：菓子箱又は小ダンボールケースに募金名称を書いてお張り下さい。
(お手数をおかけ致します。)

⑤募金名称：イ) 目標2005年！ポリオウィルスの根絶にご協力下さい。

ロ) R.C.創立100周年をポリオウィルス根絶でお祝いしましょう。

ハ) コーヒー1杯、飲んだつもり

でポリオウィルス根絶にご協力下さい。

ニ) インド・バングラディッシュ・ミャンマーでのポリオ根絶活動にご協力下さい。

※上記以外の文章でも結構です。

⑥募金振込先：東海銀行 豊橋支店

(普) No.1373158

R.I.第2760地区ポリオ根絶活動資金
地区会計長 内山 卯

⑦募金締切日：5月31日(金)

※締切日前でも募金活動終了次第、ご送金下されば幸いです。

⑧問い合わせ：ポリオプラス(小)委員会

黒 谷 尚 弘

〒440 豊橋市八町通3丁目166

TEL (0532) 55-2321

FAX (0532) 55-6178

'95～'96 ガバナー事務所

TEL (0532) 53-0666

FAX (0532) 53-0667

以上の内容で各クラブ会長に御依頼申しあげてありますので、会員各位にはご協力の程よろしくお願い申し上げます。

R.I.第2760地区

ガバナー 石 川 和 昌

地区ポリオプラス(小)委員会

委員長 黒 谷 尚 弘

“今、ロータリーの原点と奉仕を考える”

1995～'96年度
東尾張分区

INTERCITY MEETING

東尾張分区代理 福田 清 成

◇と き 1996年2月11日(日)

◇ところ 名鉄犬山ホテル

◇ホスト 江南ロータリークラブ

【プログラム】

登録受付 9:00

式 典 10:00～10:40

研修ビデオ 10:45～11:05

基調講演 11:10～12:05

昼食懇談会 12:10～13:00

フォーラム 13:10～14:55

閉会式 15:15～15:45

石川ガバナーのご示唆を受けて、新人研修とロータリー活動の事例発表を軸としたI.M.を開催しました。果して丸一日を、参加者の皆さんが真正面からロータリーを考えると云うテーマに向けて下さるだろうか、心配でした。結果はまことに有難かった、終始、静かにしかも熱心に長時間にも拘わらず耳を傾けて頂けました。三人のバスターガバナーが改めて良く準備をなさって下さり、情熱を込めてお話しして頂けたからだと思います。又、フォーラムでの真剣な発表者と、それを気遣う各クラブの参加者との心

のふれあいは、実に気持の良いものでした。

基調講演の高沢バスターガバナーのお話は、直前のビデオでのポール・ハリスのインタビューときれいに連なり、感銘深いものでした。親睦と奉仕、不離一体であることをつよく感じました。相互扶助的な仲良しクラブがどうしてこんなに発展したのか。一緒にお酒を飲む大いに結構。人間的交流が思いやりの気持を高める、真の親睦である、それが外に向えば奉仕の心となる。ロータリーのもとのお話だったと思います。



高沢バスターガバナー基調講演

フォーラムで奥谷バスターガバナーは、標語「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」が表から消された事に鑑みて、現代が余りに金銭面にのみ捉えられすぎていると警告され、心の大切さを強調された。福田バスターガバナーはウイサーブはいい悪いじゃない、アイサーブとウイサーブが混在するのがロータリー、と極めて明確に答えられました。三人のバスターガバナーの個性溢れるお話は、全て奉仕の理想に収斂し、出席会員にロータリーの素晴らしさをしみじみと訴えるものでありました。



福田清成東尾張分区代理挨拶

1995～'96年度
西尾張分区

INTERCITY MEETING

西尾張分区代理 松 前 憲 典

◇と き 1996年2月18日(日)

◇ところ 一宮勤労福祉会館

◇ホスト 一宮中央ロータリークラブ

【プログラム】

登録受付 9:30

第1部式典 10:00～10:40

第2部パネルディスカッション

10:50～12:00

昼食会 12:00～13:00

第3部フォーラム 13:00～15:10

閉会式 15:10～15:30

小雪が散らつき厳しい寒波の襲来となりましたが、午前10時頃から、快晴に恵まれました。

2月18日(日)西尾張分区のI.M.を石川ガバナーをはじめ、多数のご来賓をお迎えして、総員389名の参加を得まして、盛大に開催することができました。心より厚く御礼を申し上げます。西尾張分区9クラブより、パネルディスカッションの質問と各クラブの事業発表をしていただき、大変有意義なI.M.を開催することができました。ご理解とご協力に感謝申し上げます。

●石川ガバナー I.M. 開催の基本方針

石川ガバナーは、I.M.の基本方針として、(1)、地元で簡素に開催する。(2)、新入会員の教育(入会3年未満の方を出席義務者とする)(3)、各クラブの主なる事例(事業)を発表していただく。(4)、「ポールハリスの生涯」をビデオ上映して、ロータリーの原点を学ぶ。以上の4点を強調され、勉強会にして欲しいと要望されました。この方針に沿いまして、ホテル開催予定を地元の一宮勤労福祉会館と変更し、懇親会を中止して、I.M.をロータリーの勉強第一として簡素に開催させていただきました。

●パネルディスカッション

「新会員の質疑及びパネリストの応答」

西尾張分区各RC新会員(入会3年以内の会員)

パネリスト 石川和昌ガバナー

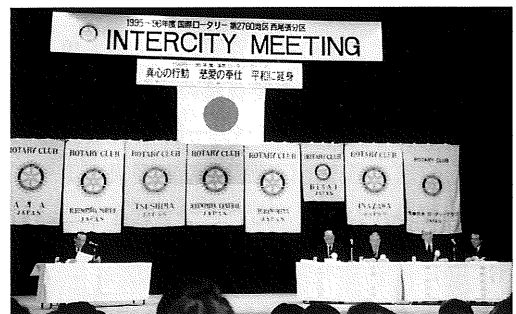
加納 泉パストガバナー

神戸政治パストガバナー

神野紀郎地区幹事

コーディネーター 松前憲典分区代理

分区内の9クラブより、ご提出の質問を中心にディスカッションを致しました。パネリストには上記4先生にお願いし、ご助言、ご指導をいただきました。①会員増強・拡大と委員会活動について②奉仕活動の取り組みについて③ロータリー財団と奨学生事業について④地区大会等。以上4テーマについて熱心な質疑と応答があり、有意義な勉強会となりました。



パネルディスカッション

なお昼食会では、寒いので温かい豚汁を始め、屋台全部が売りつくす盛況となりました。

西尾張分区9クラブより、質問と各クラブの事業発展に大変ご協力を賜り、I.M.を盛り上げて下さいましたことを、心より御礼を申し上げます。なお、ホストクラブ長谷川会長、森瀬実行委員長を始め、実行委員の皆様のご支援に心から感謝申し上げます。

1996～'97年度 地区インターアクト顧問・委員懇談会

日時／1996年2月10日(土) 会場／名古屋YMCA

地区インターアクト(小)委員長 坂本 康 信

去る2月10日(土)午前10時より名古屋YMCAホールにおいて、国際ロータリー第2760地区インターアクトクラブ顧問・委員懇談会が開催され、顧問教師22名、地区役員・委員10名、スポンサーロータリークラブインターアクト委員長、青少年活動委員長15名等総勢47名のご出席のもと盛会かつ成果を得て終了致しました。

〈懇談会の趣旨〉

(1)地区インターアクトクラブの情報交換及び意見交換(プログラムアイディアの交換、運営に困っている問題、提唱ロータリークラブ、地区委員会への要望等)、(2)今後の課題整理及び方向性の確認、(3)各校顧問教師の交流、(4)顧問教師とロータリアン委員との交流等。

以下萩本鉄夫地区インターアクト副委員長の司会により懇談会がすすめられた。

〈開会式〉

インターアクトの歌の斉唱、つづいて坂本康信地区インターアクト委員長のあいさつ(主旨説明)、内山 卯地区ガバナー代理(地区会計長)及び宮本昌幸地区青少年活動委員長よりこの会の意義についてごあいさつされました。

〈懇談会〉

(1)参加者の紹介

(2)情報交換

a. 各校インターアクトクラブの特徴及び課題(諸問題)について、各校顧問教師より発表され、活動状況を知り、インターアクトの理解を深めることができ大変有意義でありました。

b. 次年度開催される第7回(通算第33回)インターアクト協議会について、ホスト校の岡山先生より計画が発表されました。

c. 次年度地区インターアクトクラブ海外研修の基本方針が、坂本委員長より発表されました。

(3)まとめ

坂本地区インターアクト委員長より各校の報告を踏まえて、(1)今後プログラム開発の研究—特に学校に貢献できるプログラム・国際に関するプログラムの研究、(2)学校・顧問間の交流、(3)ロータリークラブ、委員の活用等々が重要であり、今回の懇談会を糸口にして実現することが必要であるとまとめられました。

〈懇親会〉

内山ガバナー代理の乾杯発声により、懇親会がすすめられ、最後に松前憲典地区インターアクトカウンセラーの閉会挨拶で終了しました。



1996～'97年度 ロータリー財団奨学生オリエンテーション

日時／1996年1月28日(日) 会場／名古屋毎日ビル国際サロン

地区財団学友会(小)委員長 梅 村 東

〈オリエンテーション次第〉

1. 開 会
2. 出席者紹介
3. 石川ガバナー挨拶、松本ガバナーノミニー挨拶
4. 星野財団カウンセラー挨拶、小出財団奨学金
カウンセラー挨拶
5. オリエンテーション
 - ①矢島財団委員長
 - ②長谷川奨学金(小)委員長
 - ③梅村学友会(小)委員長
6. 奨学生からの現況報告
7. 学友からの助言
8. 質疑応答
9. 地区役員よりの激励の言葉
10. 閉 会

1996～'97年度財団奨学生のためのオリエンテーションが石川ガバナー、松本ガバナーノミニーはじめ地区役員13名と下村、伊藤幹事他6名の学友並びに17名の奨学生の皆さんの出席を頂き開催されました。石川ガバナーより“昨年ガイダンスで皆さんにお目にかかりましたが本日拝見致しますと女性はより美しく、男性はよりたくましくなられたような感じが致します。留学先が決定された方、決定に向けて努力をされている方々それぞれございましょうけれど今後と

も進路に向って精進を賜りたいと思います。健康に留意され初期の目的を達成して頂きますよう心から念願致す次第です。”とのご挨拶があり、松本ガバナーノミニーからは“皆さん方は親善大使として行動されることが期待されておるわけでありましてどうかロータリー財団の奨学生であることを常に念頭においてそのプライドを持って勉学にいそしんで頂くことをお願い申し上げる次第であります。”とのご挨拶を頂きました。引き続き星野、小出両カウンセラーからご挨拶がありオリエンテーションに入りました。矢島、長谷川、梅村各委員長よりそれぞれの立場から留意事項について話がありそして奨学生による現況報告並びに学友からのアドバイスがなされました。特に学友会から下村、伊藤両幹事、深津三香(92)平野千晶(93)近藤雪絵(93)大津明子(94)五藤高明(94)水野教子(94)の皆さんから貴重な体験談を語って頂き、又質疑応答を通じ有意義なオリエンテーションにする事が出来ました。しかしながら奨学生の皆さんはまだ多くの課題を残しておりますので推薦RCのカウンセラーの絶大なご支援をお願い申し上げます。最後に学友会の総会並びに奨学生の壮行会を5月19日(日)に開催することをご連絡し会を閉じました。



第2760地区ニュース・その他

青少年交換プログラム三者懇談会報告

地区青少年交換(小)委員長 林 光 雄

今年も、交換学生に接してご苦労されている高校の先生方とホストファミリー、そしてホストロータリークラブの国際奉仕委員長とカウンセラーの皆さん、34人にお集まり頂きました。

奉仕のご努力に少しでもおむくいし、お互いに情報を交換し、話し合いの中で親睦を深めて頂ければという趣旨で開かれましたが、特に今年は多忙なスケジュールのなか最初の懇談会から最後の懇親会が終わるまでご出席頂いた石川ガバナーに感謝申し上げます。

開催日は2月3日ですが、春休みに入る前、そして試験などお忙しいスケジュールにご迷惑をかけないようにと集まりやすい土曜日を選びました。場所は集まりやすく、雨が降っても名古屋駅の地下街から入れるホテルキャッスルプラザにしましたが結婚披露宴で賑わう会場一帯は、自主的に参加した二人の交換学生には日本の重要な日常行事の一端にふれられ興味深かったようです。

昨年は出席者の中から適当に代表を選んで発言して頂きましたが、それぞれ傾聴すべき内容のあるお話ばかりでしたので、今回は原則として全員の皆さんに報告なり経験談を語って頂くことにしました。予想通り意欲あふれる発言が続き、まさに喜びも悩みも……といった感じで熱心にお話頂き、スタートしたばかりでもう時間超過が予想されるほどでした。普通ですと時間制限をお願いするところですが、皆さんの熱意に水をさしたくないので今回はそう時間にとられることなく話して頂きました。

学校の先生方の交換学生に対する評価が大変良いのに、ホストファミリーの印象は違うという話しには苦笑させられたり、また模範的な学

生の良い例にはほっと安心し、嬉しくなったりと時間の経過を忘れる程でした。これから青少年交換を始めようかと計画されるクラブには励みになる話しも多く有益でしたが、生活習慣の異なる高校生を世話するだけに悩みもつきません。いろいろご指摘頂いた問題点を集約するとルールの解釈が、特に門限の時間などで違いがあるという点ではないかと思われます。地区対地区で国際的に同じようなルールを規定し、学生自身に署名のうえ守るように伝えておりますが、細則といった内容を盛り込んだ配布済みの解説をあらためてプリントし直し、交換学生にホスト両親のご苦労を認識し直して貰うことにしました。立食の懇親会でもロータリークラブの会員ではないホストファミリーの方が、メモをもとに熱心に話され、又あるホストファミリーの家では、地区の9時という門限より早く7時と決めているという親代わりの真情あふれる実の子供に対するような心くばりに感心しました。

節分の日だったのでテーブルにあった豆について、交換学生から聞かれましたが、門限にあまり遅くなつてはということで7時前に“学生の福は内”と折りつつお開きに致しました。

【出席者】

石川ガバナー、吉村地区国際奉仕委員長、
林青少年交換委員長、木本副委員長、
大谷委員、神田委員、井坂委員、山本委員
東 海 R C 阿知波国際奉仕委員長

稲坂ホストファミリー

横須賀高校・岩屋教諭

名古屋大須RC 藤田委員長

藤田、西川ホストファミリー

名東高校・水谷教諭

小 牧 R C 勝山委員長、泰野ホストファミリー

江 南 R C 高田委員長、山田ホストファミリー

第2760地区ニュース・その他

名古屋空港 R C 山田カウンセラー
山畑、千田、田口ホストファミリー
愛知淑徳高校・加納副校長、島田教諭
西春日井 R C 松野副委員長、田中ホストファミリー
愛知高校・寺島教諭
豊川宝飯 R C 高桑委員長、伊藤ホストファミリー
岡 崎 R C 小原委員長、岡崎学園高校・柄沢教諭
岡 崎 東 R C 岩月委員長、河合ホストファミリー
岡崎北高校・藤井校長
岡崎城南 R C 小島委員長、岡崎東高校・川澄教諭
刈 谷 R C 平野委員長、橋本ホストファミリー
愛知教育大付属高校・加藤副校長
高 浜 R C 深谷委員長、高浜高校・久田教諭
(以上)

R.I.第2760地区ローターアクト

1995～'96年度 海外研修について

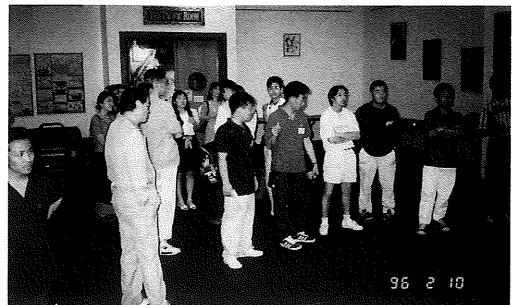
ローターアクト地区代表 吉 田 高 延
さる 2 月 9 日(金)～14 日(水)の日程において(現地 4 泊 6 日)、本年度のローターアクト海外研修を「海外における体験を通じ国際感覚を養うとともに、真の相互理解への道を認識し、国際人としての視野を確立することを目的とする。」を目的にかかげ、地区代表を団長にアドバイザーとしてローターアクト委員の野崎洋二委員長と佐伯導夫副委員長と随行していただき、総勢18名でハワイにて研修を行って来ました。

研修先は第5000地区のパシフィック・ユニバーシティー・ローターアクトクラブで、さらに私達2760地区の友好地区であります2600地区(長野)も同じ時期にハワイにて研修を行っており、5000地区・2600地区・2760地区の3地区合同での交流を計画し実施いたしました。当日5000地区からはデニー代表を始めクラブメンバー6名の参加をいただき、2600地区からは窪田

代表を始めとするアドバイザーの上田東 R C の小山先生を含む18名と私達2760地区と合わせ総勢43名にて交流会を行いました。会は相互の地区代表挨拶、バナー交換、アドバイザーのロータリアンの先生方を含むアクトー全員参加の楽しいゲームと進み、ハッと時計を見ると交流会の予定時間(午後7時～9時半ごろまで)を大幅に過ぎてしまい針は11時をまわっており、アクトー全員が時の流れを忘れる程、アクトの輪をして素晴らしさを体感したひと時でした。

今回の研修を通して参加したアクトー全員、限られた時間の中ではありませんでしたが、アクトの素晴らしさを再認識してくれたものと思います。なぜなら、交流会の席上において初めはとまどいながら話しをしていた3地区のアクトーが、終了間際にはもう旧年来の友人のように交流を深めていました。それはアクトという名のもとにすでに仲間であり友人だからです。このような友人が私達には世界中に約16万人います。これらの友人と知り合う事のできる掛け橋のひとつが海外研修です。この掛け橋を通してアクトの素晴らしさを体験し、アクトの輪を広げてひとりひとりがこれらのアクト活動に役立ててくれるものと思います。

最後にこのような素晴らしい体験を私達ローターアクトに与えていただきましたロータリアンの先生方に厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。



交 流 会

第2760地区ニュース・その他

知立ロータリークラブ 「創立5周年記念を祝って」

会長 加藤 峰 男

平成8年2月28日、知立出雲殿にて、R.I. 第2760地区石川和昌ガバナー代理、神野紀郎地区幹事、塚本昭二知立市長、鈴木政二国会議員、石川八郎右衛門西三河第二分区代理、鈴木孝平特別代表、スポンサークラブの刈谷ロータリークラブ加藤英二会長ほか、各団体の長及び関係ロータリアンをお迎えして、知立ロータリークラブ創立5周年記念式典を、“奉仕と親睦”を旨として開催した。



式典会場

記念事業として、知立市へ当クラブ会員の永井浩（日展会員）作のブロンズ像1体を寄贈、ロータリー財団・米山記念奨学会に寄付を柱に奉仕し、創立時に多大なご支援をいただいた各ロータリアン及び当クラブの“和と活力”の源泉のひとつとなった会員ご夫人をお招きし、親睦を深めた。

この5周年記念を祝って、お迎えしたご来賓の方々の当クラブに寄せる熱いご期待をひしひしと感じ、会員一同、次の10周年を目指し、当クラブの更なる充実と発展を期し、張り切っています。

米山奨学生選考委員会

米山記念奨学会委員長 小田 公 平

平成7年12月9日（土）に地区米山奨学会年末見学会が名古屋西区トヨタ産業記念館にてカウンセラー、米山奨学生58名の参加で行われました。

見学終了後、会場をサンルート名古屋に移動して年末懇親会が盛況の内に開催されました。

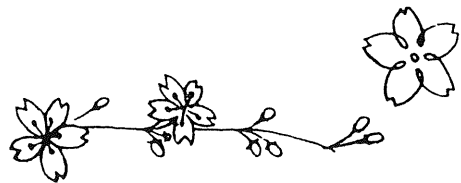
●米山奨学生選考委員会

平成7年12月15日（金）1996学年度米山奨学生申込み者142名の書類審査がガバナー事務局にて行われました。

第2回選考会は平成8年2月9日（金）名古屋国際センター5階全フロアーを会場に小論文と面接が3会場に分かれて行われました。7名の選考委員は各自の面接採点と小論文の内容を集計検討いたしました。

第3回選考会は2月14日（水）豊橋商工会議所にて石川ガバナー、田中理事他各選考委員の出席で27名の新規合格内定者と継続者11名、20名の補欠予定者を決定し（財）ロータリー米山奨学会へ連絡致しました。

1995～'96で給付終了65名の米山奨学生、その指導教官、カウンセラーを招いての謝恩・歓迎会が2月24日午後5時より栄のメルパルクを会場に開かれました。晴れの学位取得者には、米山奨学会からの記名刻印入り金時計が田中地区理事より贈呈され、全員に米山奨学生証書が手渡されました。



特別寄付報告書（1996年1月分）

財団法人 ロータリー米山記念奨学会
理事長 末 永 直 行

2760 地区

ク ラ ブ 名	クラブ収入金額	個人収入金額	法人収入金額	合 計	件 数
知 立	0	60,000	0	60,000	2 件
半 田 南	0	30,000	0	30,000	1 件
名古屋名北	0	100,000	0	100,000	1 件
名古屋瑞穂	0	960,000	0	960,000	32 件
名 古 屋 栄	0	570,000	0	570,000	19 件
名古屋西南	0	0	50,000	50,000	1 件
岡 崎	0	75,000	0	75,000	4 件
岡 崎 東	20,532	0	0	20,532	1 件
尾 張 旭	100,000	0	0	100,000	1 件
瀬 戸	0	600,000	0	600,000	2 件
田 原	0	0	0	0	2 件
高 浜	2,804	0	0	2,804	1 件
豊 橋 北	0	50,000	0	50,000	1 件
地 区 合 計	123,336	2,445,000	50,000	2,618,336	

ロータリー文庫通信 (第102号)

最近 5 年間の地区大会記念講演から

その 4 (1993-'95)

- ◎「時を見通す発想」
木村尚三郎 D.2770 10頁
- ◎「古代エジプトー 謎とロマンを求めて」
吉村作治 D.2610 19頁
- ◎「抑制のすすめ」 宮野成二 D.2770 7 頁
- ◎「ドラマの中の女たち」
橋田壽賀子 D.2740 28頁
- ◎「ロータリーの心」
河合隼雄 D.2590 10頁

◎「ロータリアンに期待されるもの」

深川純一 D.2800 18頁

◎「老人と性」

熊本悦明 D.2540 21頁

◎「お茶のこころ」

千宗室 D.2640 14頁

[申込先 ロータリー文庫 (コピー)]

注：氏名＝講演者

ロータリー文庫

〒105 東京都港区芝公園 2-6-3 abc会館 7 階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

第2760地区ニュース・その他

R.I.第2760地区R.C.C.研究会開催

地区R.C.C.(小)委員長 伊藤 洵二

本年度石川ガバナーは、地区社会奉仕委員会の下に、R.C.C.(小)委員会を置かれ、各地域でのR.C.C.(地域共同体)の設立を要望されました。

この要望を受けてすでにいくつかのクラブで準備が進められておりますが、R.C.C.についてはその歴史も新しく、もう少し研究したいとの要望もありましたので、去る2月16日、下記の通り研究会が開催されました。

当日は、カウンセラーの高沢パストガバナー、世話クラブの加納パストガバナーはじめ、多数の地区の委員の皆様、地区内58クラブ63名のR.C.C.関連委員長に参加して頂く盛大な研究会となり、熱心な報告、討議が行なわれました。

すでにスタートしております、豊橋、半田に次いで地区内第3のR.C.C.が一日も早く設立されることが望まれます。

記

日 時 1996年2月16日 PM 2:00～4:00

場 所 名鉄グランドホテル

[プログラム]

TEC (TOYOHASHI EDUCATION CIRCLE)

設立経過と現状

HEC (HANDA EDUCATION CIRCLE)

設立経過と現状

質疑応答

[出席者]

R.I.第2760地区パストガバナー

R.C.C.カウンセラー 高沢 隆

R.I.第2760地区パストガバナー 加納 泉

〃 副幹事 松井英次郎

〃 社会奉仕委員長 神谷 邦雄

〃 R.C.C.(小)委員長 伊藤 洵二

R.I.第2760地区R.C.C.副委員長 平松 富治

〃 〃 委員 中野 英二

R.I.第2760地区58クラブ

社会奉仕、R.C.C.委員長



地区財団セミナー開催

地区ロータリー財団委員長 矢島 茂

1995～'96年度地区財団セミナーは、2月8日名鉄グランドホテルにて、石川G、松本GN、地区財団委員会役員はじめ現・次期クラブ会長と財団委員長など地区内全クラブから156名が参集され、熱心な討議が行なわれました。

午後2時、鈴木茂雄地区財団副委員長の司会でまず石川和昌ガバナー、松本宏ガバナーノミニからプレゼンテーションをいただいてから次のテーマ毎のセミナーが行なわれました。

◇矢島 茂 地区財団委員長

「地区財団の現況とDDFの選択について」

◇長谷川二郎地区奨学金委員長

「奨学生推薦上の留意点と

クラブでの選考について」

◇梅村 東 地区学友会委員長

「学友会の現況と

スポンサークラブの役割について」

◇黒谷尚弘 地区ポリオ・プラス委員長

「ポリオ・プラスの現況と

今後の課題について」

第2760地区ニュース・その他

以上各委員長の提言に関し、星野充地区財団
カウンセラーから総括アドバイスをいただいて
から質疑応答を行い、石川ガバナーのご講評に
より午後4時10分セミナーを終了しました。

今回のセミナーは、2時間を設定しましたが
更に十分なご理解を得ていただくために、次の
参考文献並びに資料を配布しました。

○参加者全員に説明用手元資料一部づつ

○各クラブへ一部づつ

1. 1995年版 My Friend
2. RF2-132JA (1997-'98年度ロータリー財団 国際親善奨学金)
3. ♫ 139JA (1997-'98年度ロータリー財団 奨学金申請書)
4. RF3-142JA (年次寄付の指針)
5. ♫ 149JA (ベネファクターとしての寄付誓約書)
6. ♫ 186JA (シェア1998-'99年度プログラム選択用カタログ)

ロータリーは毎年委員長が交替されますが、
ロータリー財団に関するプログラムも毎年少し
づつ変更や追加があり、今回1997-'98実施年度
の新版資料並びに1995-'96年度プログラム選択
用カタログ(1998-'99実施年度)を配布させて
いただきました。

また、セミナーの効果を評価し次年度に生か
すため、アンケート調査を実施しました。

ロータリー財団の活動2本柱は、プレゼンテ
ーションでご指導がありましたとおり、

1. 寄付を募ること
2. 善意の寄付金を活用すること

であります。

今回のセミナーが、地区・クラブ・ロータリ
アンにとっての寄付増進と国際レベルの人道的、
文化的、教育的プログラムへの参加意識の高揚
となれば幸いです。次年度には更に充実した
意義あるセミナーをめざしたいと思います。

最後に、今年度下期の寄付金拠出は、R.I.の
認証手続の遅れがありますので、4月末をメド
に送金いただきますようお願い申し上げます。

新ポールハリス・フェロー 12月分

氏 名	所属R.C.	氏 名	所属R.C.
伊藤 隆(犬 山)		伊藤 喜久(犬 山)	
武山 勇夫(♫)		川合 勝義(名古屋西南)	
長谷川 弘(小 牧)		小林 明(名古屋千種)	
釜谷 健一(名古屋千種)		小山 雅弘(♫)	
中山 信夫(♫)		浅野 桂(豊川宝飯)	
高橋 斉夫(豊川宝飯)		森下 良三(♫)	
小林 功(♫)		増田 浩男(名古屋東)	
余後 彦次(瀬戸北)			

新ポールハリス・フェロー 1月分

氏 名	所属R.C.	氏 名	所属R.C.
天野 行夫(西尾KIRARARA)		岩瀬 一(西尾KIRARARA)	
加古 泉(♫)		為末 勝清(豊田西)	

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

- 1月24日 近藤友右衛門(名古屋RC)
- 2月2日 神谷 亮(豊川宝飯RC)
- 2月16日 塩谷 昌弘(小牧RC)
- 2月21日 伊藤 幹夫(豊田RC)
- 2月24日 外山 修造(西尾RC)

お 詫 び

ガバナー月信No.8号に誤りがありました。

P 4 地区社会奉仕委員会



地区世界社会奉仕委員会

P 17 新城RC 例会場 東海銀行 支店



新城商工会館

分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数			分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数		
				'95年 7月1日	当 月	増 減					'95年 7月1日	当 月	増 減
尾張第一分区	知 多	99.25	3	49	45	－ 4	西尾張分区	あ ま	99.68	3	103	106	3
	半 田	100.00	3	73	73			尾 西	99.38	3	60	63	3
	半 田 南	99.24	4	68	69	1		一 宮	99.26	3	91	92	1
	東 知 多	98.15	4	58	59	1		一 宮 北	98.08	3	83	87	4
	常 滑	98.55	3	69	69			稲 沢	95.24	4	64	62	－ 2
	東 海	98.02	4	64	63	－ 1		西 春 日 井	96.72	4	65	65	
	計	98.87	－	381	378	－ 3		尾 張 中 央	100.00	4	50	49	－ 1
名古屋第一分区	名 古 屋	97.13	4	225	237	1 2	東三河分区	津 島	100.00	4	86	91	5
	名 古 屋 南	98.21	4	121	125	4		一 宮 中 央	96.38	4	68	69	1
	名 古 屋 港	100.00	4	128	132	4		計	98.30	－	670	684	1 4
	名古屋瑞穂	100.00	3	100	105	5		渥 美	96.27	4	63	66	3
	名古屋中	100.00	3	157	167	1 0		蒲 郡	94.45	3	79	80	1
	名古屋西	97.50	3	148	154	6		奥 三 河	93.75	3	39	41	2
	名古屋大須	97.19	3	95	97	2		新 城	97.06	3	63	69	6
	名古屋名南	100.00	4	81	83	2		田 原	97.55	3	72	75	3
	名古屋名駅	97.74	3	97	101	4		豊 橋	99.58	4	130	132	2
	名古屋東南	99.14	3	81	86	5		豊橋ゴールデン	100.00	4	83	87	4
	名古屋栄	97.97	3	76	82	6		豊 橋 北	99.77	4	114	119	5
	名古屋西南	100.00	3	46	54	8		豊 橋 南	99.13	3	87	87	
名古屋第二分区	計	98.74	－	1,355	1,423	6 8	豊 川	98.49	4	76	79	3	
	名古屋千種	98.14	4	67	68	1	豊 川 宝 飯	95.08	4	68	70	2	
	名古屋東	96.86	3	115	120	5	田原パシフィック	97.07	4	66	77	1 1	
	名古屋北	98.77	3	114	116	2	計	97.28	－	940	978	3 8	
	名古屋名北	99.66	4	75	75		西三河第一分区	岡 崎	100.00	4	111	119	8
	名古屋名東	97.81	4	67	80	1 3		岡 崎 東	98.55	3	81	82	1
	名古屋守山	98.02	4	89	92	3		岡 崎 城 南	100.00	4	78	80	2
	名古屋昭和	99.01	3	67	69	2		岡 崎 南	99.05	3	111	116	5
	名古屋和合	100.00	4	112	115	3		豊 田	98.08	4	97	102	5
	計	98.53	－	706	735	2 9		豊 田 東	98.48	4	92	94	2
	東尾張分区	犬 山	100.00	4	78	84		6	豊 田 西	100.00	3	102	107
岩 倉		95.12	4	44	45	1		豊 田 三 好	100.00	3	29	31	2
春日井		100.00	3	84	83	－ 1		計	99.27	－	701	731	3 0
小 牧		94.64	4	70	70		西三河第二分区	安 城	95.67	4	95	93	－ 2
江 南		97.57	3	72	75	3		碧 南	100.00	4	81	86	5
名古屋空港		99.49	3	70	68	－ 2		一 色	100.00	3	53	56	3
尾 張 旭		100.00	4	68	69	1		刈 谷	100.00	3	88	93	5
瀬 戸		99.69	4	80	83	3		知 立	100.00	4	55	56	1
瀬 戸 北		98.79	4	68	70	2		西 尾	98.28	4	79	80	1
豊山一城北		99.56	4	59	60	1		西尾KIRARA	98.37	4	62	64	2
計	98.49	－	693	707	1 4	高 浜		100.00	4	53	52	－ 1	
						計		99.04	－	566	580	1 4	
地区内クラブ数				73 R C	'95.7.1 会員数		6,012名	増 加 会 員 数		217名			
					当月末会員数		6,216名	減 少 会 員 数		－13名			
					当月平均出席率		98.57%	差引純増会員数		204名			